



## 2020年8月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月13日

上場会社名 株式会社ワッツ 上場取引所 東  
 コード番号 2735 URL <https://www.watts-jp.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平岡 史生  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長 (氏名) 森 秀人 TEL 06-4792-3280  
 定時株主総会開催予定日 2020年11月25日 配当支払開始予定日 2020年11月26日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年11月25日  
 決算補足説明資料作成の有無： 有  
 決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年8月期の連結業績（2019年9月1日～2020年8月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期	52,795	2.7	1,768	146.7	1,731	163.9	774	997.3
2019年8月期	51,399	3.9	716	△28.4	656	△36.8	70	△88.9

(注) 包括利益 2020年8月期 749百万円 (－%) 2019年8月期 △28百万円 (－%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年8月期	57.80	—	7.5	8.0	3.4
2019年8月期	5.26	—	0.7	3.2	1.4

(参考) 持分法投資損益 2020年8月期 △47百万円 2019年8月期 1百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年8月期	21,544	10,481	48.7	782.34
2019年8月期	21,557	9,867	47.1	757.62

(参考) 自己資本 2020年8月期 10,481百万円 2019年8月期 10,150百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年8月期	922	△526	106	6,591
2019年8月期	2,279	△832	△510	6,075

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年8月期	—	0.00	—	10.00	10.00	134	190.1	1.3
2020年8月期	—	0.00	—	15.00	15.00	201	26.0	1.9
2021年8月期 (予想)	—	0.00	—	15.00	15.00		27.2	

### 3. 2021年8月期の連結業績予想（2020年9月1日～2021年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,940	△4.0	400	△49.1	370	△52.8	330	△21.5	24.63
通期	50,960	△3.5	1,090	△38.4	1,040	△39.9	740	△4.4	55.23

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
除外 1社（社名）上海望趣商易有限公司

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年8月期	13,958,800株	2019年8月期	13,958,800株
② 期末自己株式数	2020年8月期	560,874株	2019年8月期	560,874株
③ 期中平均株式数	2020年8月期	13,397,926株	2019年8月期	13,419,246株

(注) 期末自己株式数には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式（2020年8月期 60,000株、2019年8月期 60,000株）が含まれております。また、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2020年8月期 60,000株、2019年8月期 60,000株）。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(表示方法の変更) .....	12
(セグメント情報) .....	12
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12
4. その他 .....	13
(1) 役員の異動 .....	13
(2) 販売の状況 .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、2020年2月を挟んで取り巻く環境が大きく変化いたしました。期初には想像もできなかった新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の日本国内外での感染拡大により、4月に発出された緊急事態宣言を受けて、テレワークの増加、商業施設や飲食店の営業自粛、学校の一斉休校、各種イベントの開催自粛等による外出抑制のムードの高まりから、個人消費は巣ごもり消費関連を除く需要が大きく落ち込みました。企業活動も新型コロナウイルス感染症の終息時期が見通せず、海外経済の失速やインバウンド需要の消失等を受けて実質輸出が大幅に減少したことや、設備投資の低迷等により、総じて厳しい環境となりました。結果として、2020年4 - 6月期の実質GDPは前期比年率でマイナス28.1%とリーマンショックを超えて戦後最大の落ち込みを記録いたしました。

また、5月25日に緊急事態宣言が解除された後も、「新常态（ニューノーマル）」下での感染防止対策と社会経済活動の両立を、企業も個人も模索する状態が続いております。

このような環境のもと、100円ショップ「Watts（ワッツ）」「Watts with（ワッツ ウィズ）」「meets.（ミーツ）」「silk（シルク）」等を展開する当社グループは、収益源の多角化を図るべく、国内100円ショップ事業だけではなく、ファッション雑貨店やディスカウントショップの運営等の国内その他事業、並びに海外事業にも取り組んでおります。

国内100円ショップ事業につきましては、100円以外の価格帯（200円～1,000円）の商品導入を積極的に進めるとともに、レジ袋有料化やQRコード決済への対応等に取り組んでまいりました。また、「ワッツオンラインショップ」のオープンや、当社設立25周年を記念した「RODY」とのコラボ企画を実施いたしました。

出店状況につきましては、通期計画の140店舗に対して129店舗の出店を行いました。一方で不採算店舗の整理や母店閉鎖等による退店が81店舗（うちFC3店舗）あり、当連結会計年度末店舗数は、直営が1,215店舗（51店舗純増）、FCその他が25店舗（3店舗減）の計1,240店舗となりました。また、Wattsブランド店舗である「Watts」「Watts with」については、639店舗（119店舗純増）と全体の半数を超えました。

国内その他事業につきましては、心地よい生活を提案する雑貨店「Buona Vita（ブオーナ・ビータ）」は21店舗（1店舗増）となりました。LINE@を活用した販売促進活動や従業員のラッピング技術の向上等に取り組んでおります。デンマークのライフスタイル雑貨店「Sostrene Grene（ソストレーネ・グレーネ）」は、4店舗（1店舗減）となっておりますが、当該事業については撤退することとしたため、事業撤退に向けた準備を進めております。生鮮スーパーとのコラボである「バリュー100」は1店舗（増減なし）、ディスカウントショップ「リアル」は6店舗（増減なし）となっております。

海外事業につきましては、東南アジアを中心とした均一ショップ「KOMONOYA（こものや）」は、タイで50店舗（1店舗増）、マレーシアで2店舗（6店舗減）、ベトナムで5店舗（4店舗減）、ペルーで20店舗（増減なし）となりました。中国での均一ショップ「小物家園（こものかえん）」は、6店舗（4店舗増）となっており、自社屋号の「KOMONOYA」「小物家園」の店舗数は83店舗（5店舗純減）となりました。新型コロナウイルス感染拡大による店舗休業の影響を受けて海外事業売上高は減少いたしました。

100円以外の価格帯の商品導入効果が表れてきたことに加え、新型コロナウイルス感染症対策や巣ごもり需要により、衛生用品、手芸用品、製菓用品等の販売が伸びたことから、100円ショップ既存店売上高は好調に推移いたしました。その結果、当連結会計年度の売上高は52,795百万円（前期比2.7%増、計画比100.9%）、営業利益は1,768百万円（前期比146.7%増、計画比119.5%）、経常利益は1,731百万円（前期比163.9%増、計画比121.1%）となりました。

中国の現地法人の譲渡及び㈱ヒルマー・ジャパンの事業撤退に伴う事業整理損を計上したことを主因として、親会社株主に帰属する当期純利益は774百万円（前期比997.3%増、計画比133.5%）となりました。（前期比は前連結会計年度実績比、計画比は2020年7月10日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表した2020年8月期連結会計年度の連結業績予想比）

なお、当社グループの事業は、100円ショップの運営及びその付随業務の単一セグメントであるため、セグメントの記載をしておりません。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

当連結会計年度末における流動資産は16,416百万円となり、前連結会計年度末に比べ316百万円増加いたしました。これは、現金及び預金が516百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が195百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、5,128百万円となり、前連結会計年度末に比べて329百万円減少いたしました。これは、差入保証金が182百万円、工具、器具及び備品が105百万円、建物及び構築物が48百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

この結果、総資産は21,544百万円となり、前連結会計年度末に比べて13百万円減少いたしました。

## (負債)

当連結会計年度末における流動負債は9,661百万円となり、前連結会計年度末に比べて713百万円減少いたしました。これは、支払手形及び買掛金が1,217百万円減少した一方で、未払消費税等が289百万円、1年内返済予定の長期借入金が249百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

固定負債は、1,401百万円となり、前連結会計年度末に比べ85百万円増加いたしました。これは、資産除去債務が40百万円、役員株式給付引当金が32百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、11,062百万円となり、前連結会計年度末に比べ627百万円減少いたしました。

## (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は10,481百万円となり、前連結会計年度末に比べ614百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が639百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は48.7%（前連結会計年度末は47.1%）となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ516百万円増加し、6,591百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は922百万円（前年同期は2,279百万円の獲得）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益1,096百万円、減価償却費413百万円、未払消費税等の増加額325百万円、事業整理損310百万円であります。支出の主な内訳は、前連結会計年度の末日が金融機関の休日であったこと等による仕入債務の減少額1,112百万円であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は526百万円（前年同期は832百万円の使用）となりました。この主な内訳は、新規出店のための有形固定資産の取得による支出431百万円、基幹システム刷新に伴う無形固定資産の取得による支出110百万円であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は106百万円（前年同期は510百万円の使用）となりました。この主な内訳は、長期借入れによる収入838百万円、長期借入金の返済による支出591百万円、配当金の支払額134百万円であります。

## (4) 今後の見通し

個人消費は「特別定額給付金の支給」や「Go To トラベルキャンペーン」等の政策効果もあり、4 - 6月期を底として回復していくと見込まれますが、ワクチンの開発等の根本的治療法の確立や、雇用環境の回復状況にも左右されることから、完全な回復には時間がかかると考えられます。企業活動も同時期に底打ちし、内外の経済活動の回復に合わせて徐々に上向いていくと思われませんが、業種によるばらつきは生じるものと考えられます。ただし、米中の対立の深刻化による影響が健在化してくる可能性や、新型コロナウイルス爆発的感染の再拡大等の不確定要素があり、予断を許さない状況であります。

このような状況のもと、当社グループはローコストでの出退店とローコスト・オペレーションによって獲得した収益を商品開発に投入し、お買い得感のある商品を提供し続けます。また、多様化する顧客ニーズに応えるため、ビジネスモデルの更なる改善を進めることで、お客様に100円以上の価値を感じていただける100円ショップを目指し続けてまいります。

また、新たな成長の原動力とすべく、「Buona Vita」、「リアル」といったその他の事業へも積極的に取り組み、100円ショップ事業を補完する新しい収益源の多角化を図ります。

加えて、今後大いなる成長が見込める海外事業において、グループ内売上シェアのさらなる拡大と利益の獲得に向けて、既存事業の拡充と新規市場の開拓に取り組んでまいります。

新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、当連結会計年度においては、巣ごもり需要等により100円ショップ事業は好調に推移いたしました。次期については、その反動減もあり、100円ショップ既存店売上高の対前期比を96.0%と見込んでおります。

以上により、次期の連結業績は、売上高50,960百万円（前期比3.5%減）、営業利益1,090百万円（同38.4%減）、経常利益1,040百万円（同39.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益740百万円（同4.4%減）を見込んでおります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年 8月期	2017年 8月期	2018年 8月期	2019年 8月期	2020年 8月期
自己資本比率 (%)	50.1	49.7	52.2	47.1	48.7
時価ベースの自己資本比率 (%)	70.3	88.0	64.5	38.3	58.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	1.7	1.3	1.7	0.4	1.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	148.8	284.3	157.9	522.6	197.5

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

1. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（期末自己株式数控除後）により算出しております。
2. 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。
3. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上している負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。
4. 利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当連結会計年度 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,075,315	6,591,348
受取手形及び売掛金	2,535,234	2,340,081
商品及び製品	7,081,181	7,114,726
原材料及び貯蔵品	7,571	15,339
未収消費税等	98,166	57,652
その他	359,194	320,877
貸倒引当金	△57,258	△23,849
流動資産合計	16,099,405	16,416,177
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,846,084	2,021,501
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,066,489	△1,290,640
建物及び構築物（純額）	779,594	730,860
車両運搬具	23,480	19,860
減価償却累計額及び減損損失累計額	△15,053	△14,252
車両運搬具（純額）	8,427	5,607
工具、器具及び備品	3,566,030	3,637,146
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,873,042	△3,049,711
工具、器具及び備品（純額）	692,988	587,435
土地	257,800	257,800
リース資産	27,623	27,623
減価償却累計額及び減損損失累計額	△14,058	△19,879
リース資産（純額）	13,564	7,744
建設仮勘定	28,319	19,162
有形固定資産合計	1,780,694	1,608,611
無形固定資産		
その他	147,681	227,932
無形固定資産合計	147,681	227,932
投資その他の資産		
投資有価証券	462,938	436,438
繰延税金資産	373,215	406,098
差入保証金	2,498,717	2,316,365
その他	202,091	143,227
貸倒引当金	△6,946	△10,166
投資その他の資産合計	3,530,016	3,291,964
固定資産合計	5,458,392	5,128,507
資産合計	21,557,797	21,544,684

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当連結会計年度 (2020年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,696,346	3,479,165
電子記録債務	3,589,730	3,686,438
1年内返済予定の長期借入金	434,366	684,324
未払法人税等	245,379	169,097
未払消費税等	110,152	399,903
事業整理損失引当金	32,163	75,596
賞与引当金	187,223	203,687
役員賞与引当金	—	17,900
その他	1,080,003	945,519
流動負債合計	10,375,364	9,661,633
固定負債		
長期借入金	572,851	569,688
退職給付に係る負債	276,781	297,928
役員退職慰労引当金	24,735	27,772
役員株式給付引当金	32,721	65,245
資産除去債務	152,399	192,735
その他	255,893	247,987
固定負債合計	1,315,382	1,401,358
負債合計	11,690,746	11,062,992
純資産の部		
株主資本		
資本金	440,297	440,297
資本剰余金	1,637,636	1,354,136
利益剰余金	8,325,881	8,965,680
自己株式	△273,120	△273,120
株主資本合計	10,130,694	10,486,994
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,411	15,857
為替換算調整勘定	14,443	△21,158
その他の包括利益累計額合計	19,855	△5,301
非支配株主持分	△283,500	—
純資産合計	9,867,050	10,481,692
負債純資産合計	21,557,797	21,544,684

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
売上高	51,399,073	52,795,694
売上原価	32,061,822	32,580,148
売上総利益	19,337,251	20,215,545
販売費及び一般管理費	18,620,307	18,446,842
営業利益	716,943	1,768,703
営業外収益		
受取利息	10,021	6,512
受取配当金	996	915
持分法による投資利益	1,760	—
受取ロイヤリティー	5,392	5,405
受取補償金	7,308	26,922
補助金収入	—	35,542
その他	6,796	18,730
営業外収益合計	32,275	94,028
営業外費用		
支払利息	6,415	6,723
退店違約金	49,277	52,371
持分法による投資損失	—	47,540
為替差損	34,949	17,485
その他	2,527	7,465
営業外費用合計	93,169	131,585
経常利益	656,050	1,731,147
特別利益		
保険解約返戻金	—	1,260
固定資産売却益	—	362
受取保険金	—	25,138
特別利益合計	—	26,761
特別損失		
固定資産除却損	20,678	4,879
減損損失	197,643	205,031
事業整理損	59,368	426,904
災害による損失	—	24,791
特別損失合計	277,690	661,605
税金等調整前当期純利益	378,359	1,096,302
法人税、住民税及び事業税	386,050	361,974
法人税等調整額	20,715	△40,050
法人税等合計	406,765	321,924
当期純利益又は当期純損失(△)	△28,405	774,378
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△98,980	—
親会社株主に帰属する当期純利益	70,574	774,378

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△28,405	774,378
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,070	10,445
為替換算調整勘定	△3,048	△33,588
持分法適用会社に対する持分相当額	18,375	△2,012
その他の包括利益合計	256	△25,156
包括利益	△28,149	749,221
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	70,830	749,221
非支配株主に係る包括利益	△98,980	—

## ( 3 ) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 ( 自 2018年 9 月 1 日 至 2019年 8 月 31 日 )

( 単位 : 千円 )

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	440,297	1,637,636	8,459,425	△137,991	10,399,368
当期変動額					
剰余金の配当			△204,118		△204,118
親会社株主に帰属する 当期純利益			70,574		70,574
自己株式の取得				△135,128	△135,128
株主資本以外の項目の 当期変動額 ( 純額 )					
当期変動額合計	—	—	△133,544	△135,128	△268,673
当期末残高	440,297	1,637,636	8,325,881	△273,120	10,130,694

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累 計額合計		
当期首残高	20,482	△883	19,598	△184,519	10,234,447
当期変動額					
剰余金の配当					△204,118
親会社株主に帰属する 当期純利益					70,574
自己株式の取得					△135,128
株主資本以外の項目の 当期変動額 ( 純額 )	△15,070	15,327	256	△98,980	△98,723
当期変動額合計	△15,070	15,327	256	△98,980	△367,396
当期末残高	5,411	14,443	19,855	△283,500	9,867,050

当連結会計年度 ( 自 2019年 9 月 1 日 至 2020年 8 月 31 日 )

( 単位 : 千円 )

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	440,297	1,637,636	8,325,881	△273,120	10,130,694
当期変動額					
剰余金の配当			△134,579		△134,579
親会社株主に帰属する 当期純利益			774,378		774,378
連結子会社株式の取得に よる持分の増減		△283,500			△283,500
株主資本以外の項目の 当期変動額 ( 純額 )					
当期変動額合計	—	△283,500	639,799	—	356,299
当期末残高	440,297	1,354,136	8,965,680	△273,120	10,486,994

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累 計額合計		
当期首残高	5,411	14,443	19,855	△283,500	9,867,050
当期変動額					
剰余金の配当					△134,579
親会社株主に帰属する 当期純利益					774,378
連結子会社株式の取得に よる持分の増減					△283,500
株主資本以外の項目の 当期変動額 ( 純額 )	10,445	△35,601	△25,156	283,500	258,343
当期変動額合計	10,445	△35,601	△25,156	283,500	614,642
当期末残高	15,857	△21,158	△5,301	—	10,481,692

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	378,359	1,096,302
減価償却費	437,019	413,311
減損損失	197,643	205,031
のれん償却額	4,767	5,721
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	20,821	△1,823
賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,439	16,464
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	17,900
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	11,932	21,147
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△14,050	3,037
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	8,257	32,523
事業整理損失引当金の増減額 (△は減少)	32,163	43,433
受取利息及び受取配当金	△11,017	△7,428
支払利息	6,415	6,723
固定資産除却損	20,678	4,879
事業整理損	27,205	310,918
売上債権の増減額 (△は増加)	△281,144	109,883
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△264,452	△156,182
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,779,582	△1,112,894
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△12,587	325,759
その他	195,979	19,388
小計	2,547,012	1,354,095
利息及び配当金の受取額	10,603	6,999
利息の支払額	△4,363	△4,669
法人税等の支払額	△273,256	△434,325
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,279,996	922,099
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△561,785	△431,272
有形固定資産の売却による収入	—	342
無形固定資産の取得による支出	△76,887	△110,535
資産除去債務の履行による支出	△24,619	△59,605
敷金及び保証金の差入による支出	△220,245	△73,186
敷金及び保証金の回収による収入	115,929	157,373
投資有価証券の取得による支出	—	△387
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の 売却による支出	—	△9,620
その他	△64,479	600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△832,088	△526,290
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100,000	—
長期借入れによる収入	600,000	838,342
長期借入金の返済による支出	△664,314	△591,547
リース債務の返済による支出	△7,274	△6,286
自己株式の取得による支出	△135,128	—
配当金の支払額	△204,095	△134,413
財務活動によるキャッシュ・フロー	△510,812	106,094
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,900	14,129
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	928,194	516,032
現金及び現金同等物の期首残高	5,147,120	6,075,315
現金及び現金同等物の期末残高	6,075,315	6,591,348

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (表示方法の変更)

(連結キャッシュ・フロー計算書)

前連結会計年度において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「事業整理損」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することといたしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた223,184千円は、「事業整理損」27,205千円、「その他」195,979千円として組み替えております。

## (セグメント情報等)

当社グループは、100円ショップの運営及びその付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
1株当たり純資産額	757円62銭	782円34銭
1株当たり当期純利益	5円26銭	57円80銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎となる期末発行済株式総数については、その計算において控除する自己株式に役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めております(前連結会計年度60,000株、当連結会計年度60,000株)。

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎となる期中平均株式数については、その計算において控除する自己株式に役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めております(前連結会計年度60,000株、当連結会計年度60,000株)。

4. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	70,574	774,378
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	70,574	774,378
普通株式の期中平均株式数(株)	13,419,246	13,397,926

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. その他

## (1) 役員の変動

## ① 代表取締役の変動

該当事項はありません。

## ② その他役員の変動

該当事項はありません。

## (2) 販売の状況

地域別・事業部門の売上高は、以下のとおりであります。

地方別	金額（千円）	前年比（％）	店舗数		
			期末店舗数	新規出店数	閉鎖店舗数
北海道地方	2,150,017	108.6	78	7	2
東北地方	2,105,872	113.6	76	10	5
関東地方	13,359,285	106.4	283	21	21
中部地方	7,311,464	109.1	205	27	13
近畿地方	10,861,046	104.4	225	17	15
中四国地方	4,870,335	105.9	190	32	15
九州地方	4,810,624	108.3	158	15	7
100円ショップ直営計	45,468,645	106.9	1,215	129	78
卸他	7,327,049	82.6	140	20	28
全社合計	52,795,694	102.7	1,355	149	106